KEIYO

ドライブレコーダー
AN-R001 取付説明書

取り付け完了後、「本書」をお客様にお渡しください。

安全上のご注意

●安全のため、取り付け・結線作業の前に以下のご注意とこの「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業してください。
●お読みになった後はいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

絵表示について

この取付説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告

この絵表示の記載事項を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。

⚠注 意

この絵表示の記載事項を守らないと、人が障害を負ったり、物的損害が発生するおそれがあります。

絵表示の例

	この記号は、注意（警告を含む）をしなければならない内容です。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。
	この記号は、禁止（やってはいけないこと）する内容です。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	この記号は、必ず行っていただきたい内容です。

作業をはじめる前に

⚠警 告

●**取り付ける車のバッテリー電圧を確認する…**
本機はDC12V車載用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災や故障などの原因となります。
●**配線作業中は、バッテリーのマイナス側コードをはずす…**
ショート事故による感電や、けがの原因となります。

取り付け場所について

⚠警 告

●**エアバッグ装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に取り付けない…**
エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やケガの原因となります。
●**本機を次のような場所に取り付けない…**
前方の視界を妨げる場所/シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所/同乗者に危険を及ぼす場所/エアバッグシステムの作動に影響する場所/運転操作を妨げたり、はずれたりして、ケガや交通事故の原因となります。

⚠注 意

●**雨が吹き込むところなど水のかかるところや、湿気・ほこりの多いところへは取り付けない…**
本機に水や湿気、ほこりが混入すると、発火や発煙の原因となることがあります。
●**振動の多いところなど、しっかりと固定できないところには取り付けない…**
はずれて、ケガや事故の原因となることがあります。
●**直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところ、また本機の通風穴や放熱部をふさぐ場所に取り付けない…**
本機内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

取り付けの注意

⚠注 意

●**必ず付属の部品を指定通り使用する…**
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずにはずれたりして、事故や故障の原因となることがあります。
●**車体のボルトやナットを使用して本機を取り付ける場合は、ステアリング、シートレール、ブレーキ系統、ガソリンタンクなどの重要保安部品は絶対に使用しない…**
これらを使用すると、制動不能や故障、発火の原因となることがあります。
●**車体のビスを使用して取り付けを行うときは、ネジがゆるまないように確実に締め付ける…**
ネジがゆるみ、事故や故障などの原因となることがあります。

結線の注意

⚠警 告

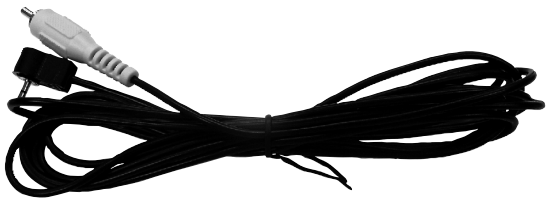
●**コード類は、取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめておく…**
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。
●**接続コード類は配線は、高熱部を避けて行う…**
コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。
●**エアバッグシステム装着車に接続コード類の配線をする場合は、システムの作動に影響する場所に配線しない…**
エアバッグが正常に作動しないと万一のとき、事故やケガの原因となります。

⚠注 意

●**正規の接続をする…**
誤った接続をすると、火災や事故の原因となることがあります。
●**コード類の結線終了後は、コード類をクランプや絶縁テープで固定する…**
コード類が車体部分との接触によりすり切れてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
●**車体やネジ部分、シートレールなどの可動部に配線をはさみこまない…**
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

構成部品

本体



映像ケーブル

クランパ　３個

六角レンチ

micro SD

SD変換アダプター

クリーナー50

取扱説明書

取付説明書

本製品について

製品の特徴

本製品は自動車のフロントガラスに取付け、運転手の運転状況を自動記録することを目的とした製品です。

1）記録は自動車電源をオン（ACCオン）すると自動的に開始し、電源をオフすると自動的に停止しますので、特別な操作はいりません。

2）micro SDカードに記録された画像データがいっぱいになった場合は古い時間のデータを消去して、新しいデータを記録しますので、常に最新の運転状況画像が記録されます。

3）記録画像はVGA、記録枚数は７フレーム又は14フレーム/秒を選択する事ができます。２GBのmicro SDカードを使用した場合、秒14フレーム記録モードで約60分、秒７フレームでは約120分の記録が可能です。

4）本製品で画像再生が可能で、レコーダを取り外す事なしに、モニタ接続により、運転状況の確認が出来ます。（事故現場での状況確認が容易に出来ます）

5）記録はmicro SDカードに行われますので、事故等で本製品が故障した場合でも、micro SDカードが破壊されていない場合は、micro SDカードを取り外し、画像データをコンピュータで再生できます。

6）USBメモリインタフェースを有し、コンピュータへの画像読み出しが出来ますので、運転記録としてのコンピュータ保存が可能です。

7）リアルタイム画像表示により、モニターを接続する事により、カメラアングルの調整が容易に行えます。

8）取り付けはフロントガラスへの貼り付けですので簡単に装着できます。

9）バックアップ用電池を排除する事により小型・軽量になり、取り付けが簡単に、なります。
小型・軽量になる事で事故時に本装置による搭乗者への危険度が低下します。

取付方法

1. 注意事項

1）記録された画像は事故を起こした場合、示談交渉や法的手続きにおいて、参考記録として活用して頂く事はできますが、直接的証拠として保証されるものではございません。

2）本製品は本来の使用目的以外では使用しないでください。 使用した場合、 当社では一切の責任を負いません。

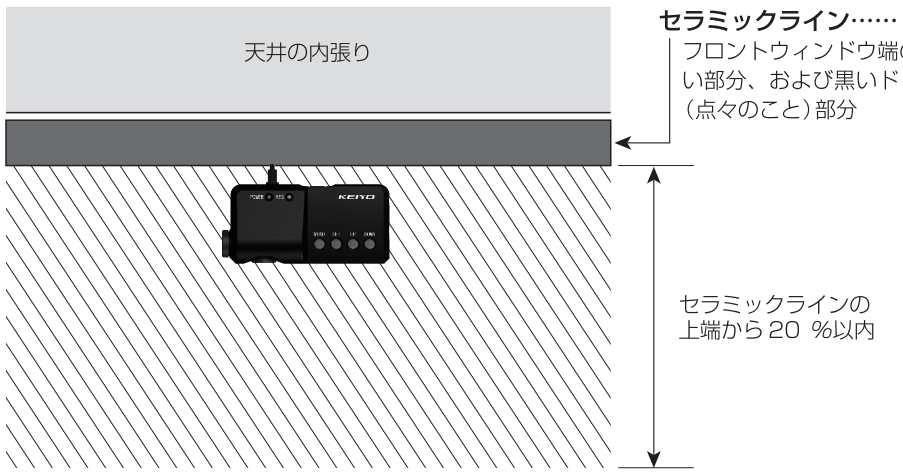
3）万が一、画像が記録されていなかった場合や保存されていたデータの消去や破損が生じた場合は当社では一切の責任を負いません。

4）本製品の取扱について、ケースを取り外さないで下さい。 ケースを外すと内部の部品が破損する事があり、保証の対象外となります。

5）本製品の仕様は改良のため予告なしで変更することがございます。

2. 取付事前確認

1）製品本体は自動車のフロントガラスに取り付けてください。
2）本体がルームミラーに接触していないか確認をしてください。
3）運転手の視界の妨げになっていないか確認をしてください。
4）保安基準で定められております、フロントガラス全体の上部20%以内の範囲に取り付けてください。



5）凹凸部には取り付けないで下さい。
6）取付けの際には水分、油分は完全に拭き取ってから取り付けてください。
7）アンテナ付近に取り付けると干渉する恐れが御座います。
8）シガーケーブルがしっかりと挿入され供給されているか確認をしてください。

取付方法

自動車への取付方法

1．最適な位置を決め、フロントガラスに対して水分、油分を完全に拭き取ってください。

2．付属品のmicro SDを取り出し、本体の差込口へカチッと音がするまで確実に奥へ挿入してください。
（micro SDの挿入向きは、ラベル表示を裏側に向けて挿入してください。）

3．本体の裏面にある両面テープの保護シートを剥がしてください。

取付方法

自動車への取付方法

4．本体をフロントガラスに取り付けてください。
（micro SDカードを抜き差しできる上側のスペースが必要です。）

5．本体からの電源ケーブルは視界の妨げにならない様にフロントガラスの内張りに収納して取り付けてください。

6．本体からのシガーケーブルを自動車側のシガーソケットへ挿入し、電源を供給してください。

取付方法

自動車への取付方法

7．フロントガラスへの取付けが終わりましたら、レンズ角度アジャスターで角度調整をしてください。
（レンズ角度アジャスターにある溝部を車体と平行にすることにより、適切な角度で取り付ける事ができます。）

8．カメラの角度が決まったら六角レンチでアジャスターを締め、固定します。

9．ドライブレコーダーの取り付けが完了です。

10．自動車のエンジンをスタートさせると録画が開始されます。